

印刷業界の新技术情報を三美印刷がお届けするメールニュース

sanbi-i-com (No.186)

ブロックチェーン ③

出版関連企業が続々と NFT 事業に参入

デジタルデータは元来コピーが簡単にできてしまうものですが、NFTがあれば「コピーではない真正なデータです。正当な持ち主は誰です」と証明することができます。このメリットを生かせる分野は多々あるため、様々な業種の有力企業が NFT 関連事業に参入してきていますが、ここに来て、出版業界に関わりの深い会社の NFT 事業参入のニュースが相次いでいます。以下にそれらのニュースをご紹介します。

※以下、(1)～(4)の番号の隣に社名と発表日、その下にリンク付きで発表の見出し文を置きます。

(1)メディアドウ、トーハン (2021/10/12 発表)

[メディアドウ、NFT マーケットプレイス「FanTop」サービス開始／フィジカル・デジタルの融合でコレクションする喜びをアップデート](#)

見出しにトーハンの名前は入っていませんが、リンク先を下へ読み進みますと、「資本業務提携先のトーハンとの取り組みで、FanTop で発行できる NFT デジタル特典を、紙の出版物の特典として全国各地の書店で流通します」とあります。さらに下へ進みますと、「パートナー企業各社からのコメント」の欄があり、出版社の方々のコメントも載っています。

電子書籍取次大手のメディアドウは、旧メディアドウと出版デジタル機構が合併した会社ですので、出版デジタル機構を通じて複数の大手出版社も出資しており、出版業界との関係は濃厚です。

[OpenSea](#) をはじめとする既存の NFT マーケットプレイス(取引所)ではデジタルアートやゲーム用アイテムなどが盛んに取引されていますが、FanTop のような「出版社を主なターゲットにしている」ことが明白な取引所は今まで他に例がなかったように思います。

(2)電通 (2021/10/12 発表)

[電通、NFT マーケット「FanTop」に参画し、IP のデジタル流通を推進](#)

上記(1)と一体のニュースとも言えますが、広告代理店大手の電通も FanTop に参画します。

見出しにある IP とは、IP アドレス等の IP (Internet Protocol) ではなく、知的財産、Intellectual Property の IP です。IP ホルダーとは、(ここでは特許権は関係ないので)主に著作権者を指します。文脈で分かることとはいえ、紛らわしいのでご注意ください。

(3)モバイルブック・ジェーピー (2021/9/17 発表)

[モバイルブック・ジェーピー 2021 秋より NFT 事業へ参入](#)

発表の日付としては(1)よりも前ですが、(1)が「開始した」なのに対し、こちらは「開始予定」のニュースなので、順番として後の(3)にしました。

モバイルブック・ジェーピーも電子書籍取次の大手であり、大日本印刷グループの会社ですが、多数の出版社も出資しています。上記リンク先にある PDF 文書を読むと、こちらも出版社をターゲットにしていることが明白です。

(4)共同印刷、MediBang (2021/10/14 発表)

[株式会社 MediBang との資本業務提携契約締結のお知らせ ～ NFT 事業参入を目的とした業務提携を実施～](#)

こちらは、新設でなく既存のマーケットプレイスを使って NFT 事業に取り組むとのこと。MediBang のイラスト、マンガでの強みが発揮されそうです。

以上

(第 186 回: 2021 年 12 月 27 日)